

史料群番号 70

史料群名	しもつうら 下津浦漁業組合文書	旧所蔵者	下津漁業協同組合
探訪時住所	和歌山県海草郡下津町		
現在の住所	和歌山県海南市下津町下津		
探訪年月	昭和25（1950）年10月		
史料の年代	明治10（1878）年～昭和16（1941）年	史料の 総点数	（146点）
年代の内訳	（近代 146点）	筆写稿本	あり
既刊行目録	「1951年6月 漁業制度資料目録 第3集 全国篇Ⅱ 日本常民文化研究所・水産庁資料整備委員会」		

収蔵にいたる経緯

「漁業制度資料目録 第3集」に「下津浦漁業組合文書」の目録があって、「寄贈文書」として7点の史料が掲載されている。現在中央水産研究所に収蔵されている史料の中にこれらは含まれているものの、それ以外の史料も多く残されている。おそらく寄贈された史料のうち、重要なものを選んで「漁業制度資料目録」に掲載したと考えられる。

史料群の概要

下津浦は近世から明治22年まで存続し、その後浜中村に属し、昭和13年に下津町となった。下津浦は下津湾の南奥に位置する。

明治10年「西開講仕法帳」、明治25年「宮金控帳」、明治26年「村内戸数簿」は、漁業組合ではなく下津浦の村政に関する史料と考えられる。明治期の漁業組合は、近世の村を単位としていくことが多く、漁業組合に伝来した史料群に村の史料が入っている例はよく見られる。本史料群の明治期の史料は、大半が村政に関するものである。大正～昭和期の史料には漁業組合の運営に関する大部な書類綴が含まれている。

